

【教師向け資料】 短歌鑑賞の指導資料

◎ 生徒自身が選定した短歌の鑑賞文について、味わいを共有する場を作ってみましょう。
鑑賞文の内容面（＝読むこと）、公的な場での発表力（＝話すこと・聞くこと）の両方が発揮される学習活動ですが、「何について評価するのか」は、教師自身が生っかりと吟味し、生徒に明示することが肝心です。

例：短歌鑑賞文の発表に向けて

短歌鑑賞文の作成は進んでいますか？
いよいよ第二学期に、鑑賞文を交流し合う発表会を行います。

発表・交流の手順は次の通りです。

手順1 教室前方に出る。↓選んだ短歌を二回「朗読」する。

手順2 鑑賞文の用紙を活用しながら、短歌の特徴や味わい、自分の考える「その短歌のよさ」を紹介する。

〔注〕○敬体（「です」「思います」等の言葉遣い）

で話すこと。

○鑑賞文をうつつむいて読むのではなく、キーワードが生っかりと伝わるよう、話し方を工夫すること。

手順3 短歌の作者の紹介をする。

〔注〕

○手順1・2（朗読と鑑賞）に直接関係することを強調すること。教科書の脚注を機械的に読むだけの発表はふさわしくない。自ら進んで調べたことを付け加えることは、大変よろしい。

手順4 礼を尽くして挨拶し、静かに自席にもどる。↓次の人へ

聞き手は、異なる鑑賞を聞き比べながら聞き、**メモを取る**。

【効果的なプレゼンテーションに向けて】

○ プレゼンテーションとは、相手の理解や納得を得るために、自分の考えや調査内容などを提示して、説明や説得をすることである。

○ プレゼンテーションの実施は、次の手順を踏む。

- 1 **提案する素材（内容）を決める**
・各自で材料を集めるので、「取材」「選材」ともいう。
- 2 **項目を整理し、進行案をつくる**
・資料を提示する際にプレゼンテーションソフトを用いるのか、ボード型の資料である（⑤）
などに表すのか、等も考えておく。

3 **プレゼンテーションをする**

4 **内容に関する質疑応答をする**

5 **互いの提案のよさを評価し、賞賛する。**

○ わかりやすい説明のためには、次の5点に留意するとよい。

- ア 表などにまとめたながら、**要点や論旨の整理**をする。
- イ 聞き手の**知りたいこと**の予測をしておく。
- ウ 自身の**考えの根拠や理由**を明確に述べる。
- エ **間や声量、抑揚**に変化をつける。
- オ **図表**などを用いて**視覚的な工夫**を行う。

自分の鑑賞文を

推敲しよう

①短歌 (視写)	②私の 鑑賞	③作者 紹介

〔学習プリント例〕

()年()組()番(氏名)

「短歌鑑賞文の交流」

◎ 短歌の鑑賞文をつくり、交流し合おう。

手順1

所定の短歌リストから一首を選ぶ。

手順2

①選んだ短歌の視写(書き写し)、②鑑賞文づくり、③作者紹介文づくり、を行い、プリントにまとめる。

手順3

教室前方に出て、選んだ短歌を「朗読」(二回繰り返し)し、「鑑賞文」「作者紹介文」を紹介する。
*同じ短歌を選んだ者同士が、交互に発表し合う。

手順4

発表を終えたまとめを添えて、レポートを提出する。

①短歌 (視写)	②私の 鑑賞	③作者 紹介

【鑑賞交流会を終えて】

--	--	--	--

(自己評価)

	③	②	①
A			
B			
C			